

I. 胃がん検診全国集計

II. 大腸がん検診全国集計

III. 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

北川 晋二, 宮川 国久, 宇都宮 尚, 小川 眞広,
齋藤 洋子, 瀬川 昂生, 長田 裕典, 平田健一郎,
藤井 久男, 松田 徹

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその24回目にあたる。平成18年度の調査は昨年度と同様に、調査票を送付する方法に加え、コンピューター入力用プログラムを送付しフロッピーディスクにて回答を求める方法も行った。

I 胃がん検診全国集計成績

1. 胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているI群の割合は、間接がん検診機関では259ヵ所中222ヵ所(85.7%),直接がん検診では221ヵ所中177ヵ所(80.1%)であった(表1)。

平成18年度の受診者総数は、5,789,607人で、発見胃癌の実数は5,743例(0.099%)であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数8,307例(0.143%)であった(表2)。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成18年度の受診者総数は、前年度と比べ約11万人、1.9%減少した。

2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にしてみると、撮影枚数は間接がん検診では6枚が0.4%で、7枚が34.0%、8枚以上が63.7%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかかなり定着していると考えられた(図2-a)。200%以上のバリウムを用いている施設は、間接がん検診で68.4%、直接がん検診で75.1%を占めていた(図2-b)。バリウムの量は間接がん検診、直接がん検診とも、131~150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた(図2-c)。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示した。

撮影者については、間接がん検診では、医師が撮影する機関は0.4%、技師が行う機関は96.9%、両方で撮影するもの0.8%であった。直接がん検診では医師が2.7%、技師は88.2%、両者が7.7%であった(図2-e)。

3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が間接がん検診で6.9%、直接がん検診で18.1%あった(図3-a)。認定医の有無についてみると、間接がん検診を行っている検診機

表1 胃がん検診全国集計対象機関の区分（平成18年度）

	機関数	
	1) 間接がん検診	2) 直接がん検診
性・年齢別に受診者、要精検者、精検 Ⅰ群 受診者、発見胃癌患者が把握され、且 つ癌患者の個人票の揃っているもの	222 (85.7%)	177 (80.1%)
Ⅱ群 性・年齢別に集計されていないもの 及び集計数のみ判明するもの	37 (14.3%)	44 (19.9%)
計	259	221

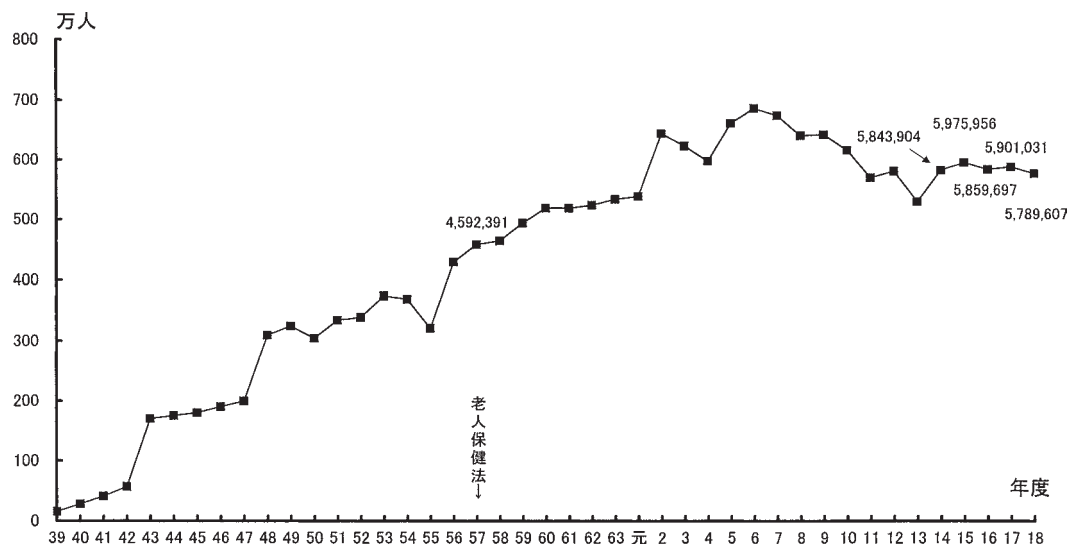
(注): 1)間接X線撮影による胃がん検診のこと
2)直接X線撮影による胃がん検診のこと

表2 対象機関別受診者数と発見胃癌数
(平成18年度, 男女計, 間接, 直接の合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
Ⅰ群	5,603,771	5,713	0.102%	8,156	0.146%
Ⅱ群	185,836	30	0.016%	151	0.081%
総計	5,789,607	5,743	0.099%	8,307	0.143%

* 推定率は各群の精検受診率(Ⅰ群70.1%、Ⅱ群19.9%)を100とした場合、未受診者も
受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

図1 胃がん検診の年度別集計対象数の推移（昭和39年度～平成18年度学会による全国集計）

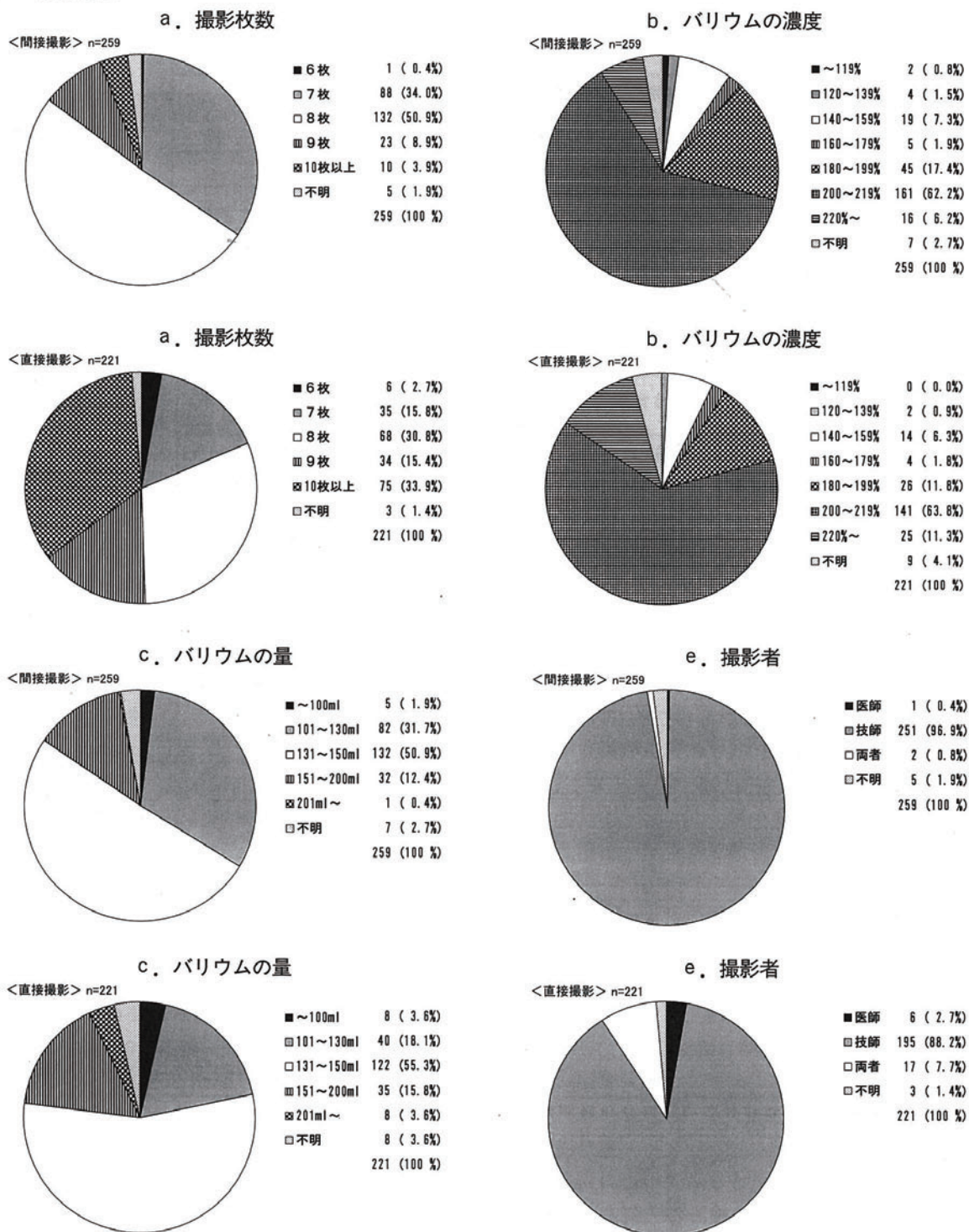


関では63.3%，直接がん検診の機関では，56.1%
に認定医がいるという状況であった（図3－b）。

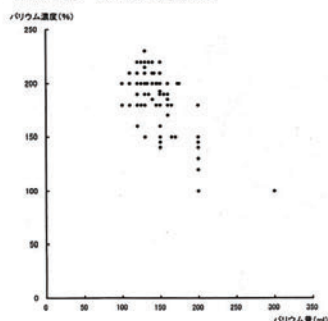
4. 精検後の管理

精検後の管理の方法について，間接がん検診
の場合について述べると，精検の実施方法では，

図2 撮影方法



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法
<間接撮影> d. バリウムの濃度と量

d. バリウムの濃度と量

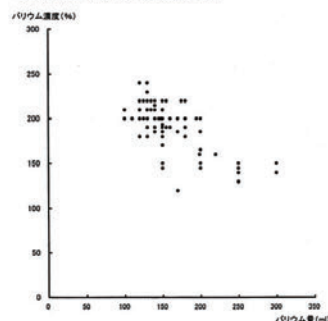
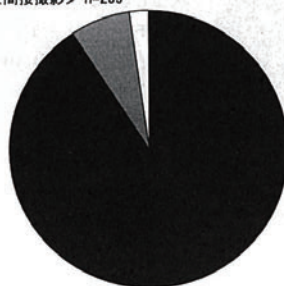
図2 撮影方法
<直接撮影> d. バリウムの濃度と量

図3 読影状況

a. ダブルチェック

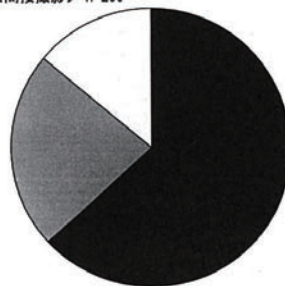
<間接撮影> n=259



■ している	235 (90.8%)
□ していない	18 (6.9%)
□ 不明	6 (2.3%)
	259 (100%)

b. 認定医

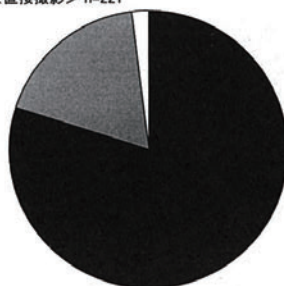
<間接撮影> n=259



■ いる	164 (63.3%)
□ いない	59 (22.8%)
□ 不明	36 (13.9%)
	259 (100%)

a. ダブルチェック

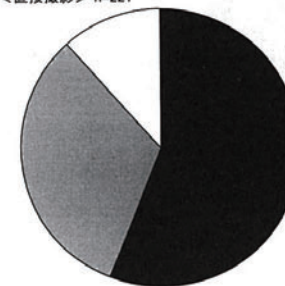
<直接撮影> n=221



■ している	177 (80.1%)
□ していない	40 (18.1%)
□ 不明	4 (1.8%)
	221 (100%)

b. 認定医

<直接撮影> n=221



■ いる	124 (56.1%)
□ いない	71 (32.1%)
□ 不明	26 (11.8%)
	221 (100%)

表3 地域・職域検診別の検診成績

(I, II群, 間接・直接がん検診, 男女合計, 平成18年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,672,803	2,867,532	5,540,335
要 精 検 者 数	273,429	231,974	505,403
要 精 検 率	10.2 %	8.1 %	9.1 %
精 検 受 診 者 数	226,114	122,655	348,769
精 検 受 診 率	82.7 %	52.9 %	69.0 %
発 見 胃 癌 数	4,430	1,131	5,561
発 見 率	0.166 %	0.039 %	0.100 %

図4 精検以後の管理

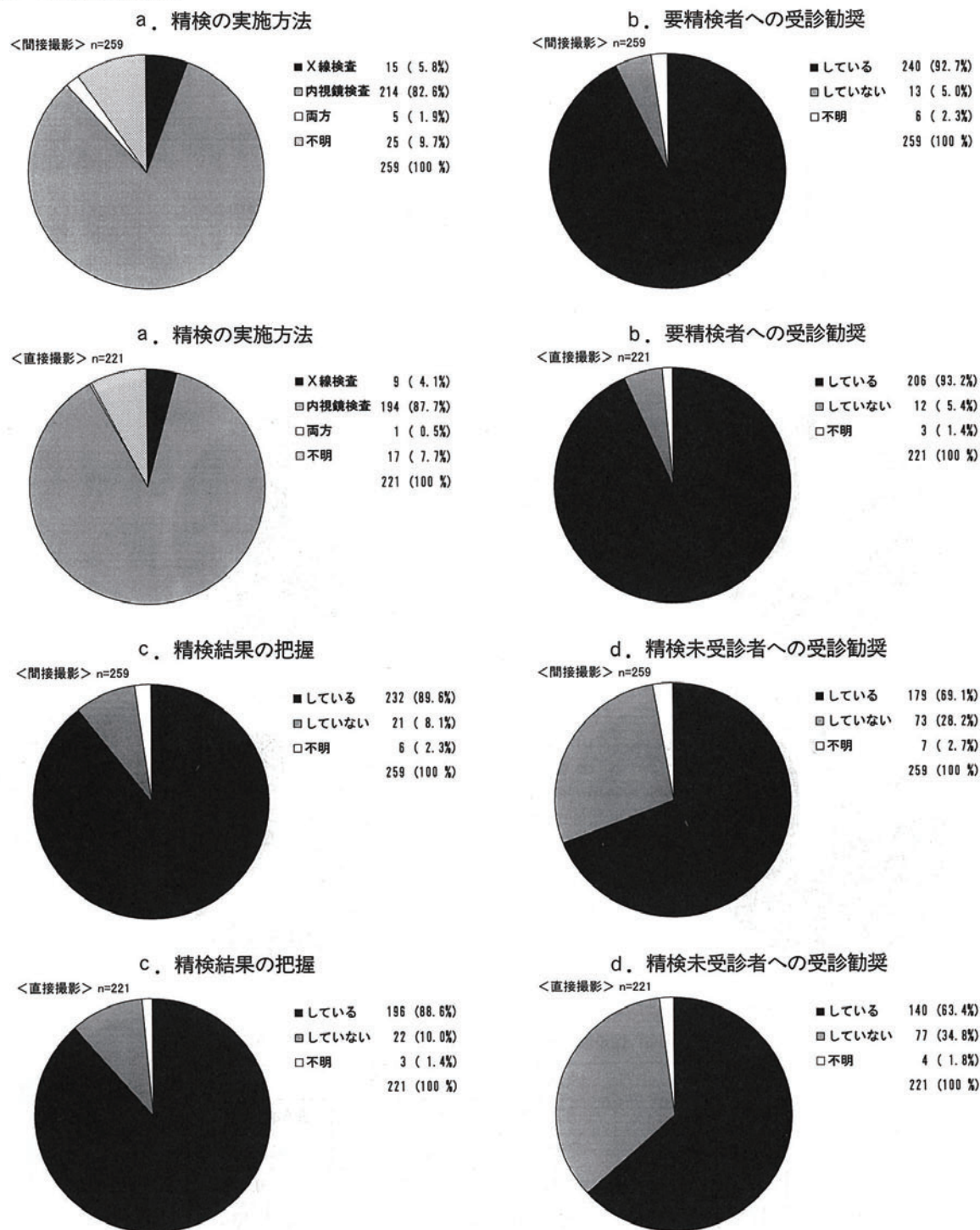
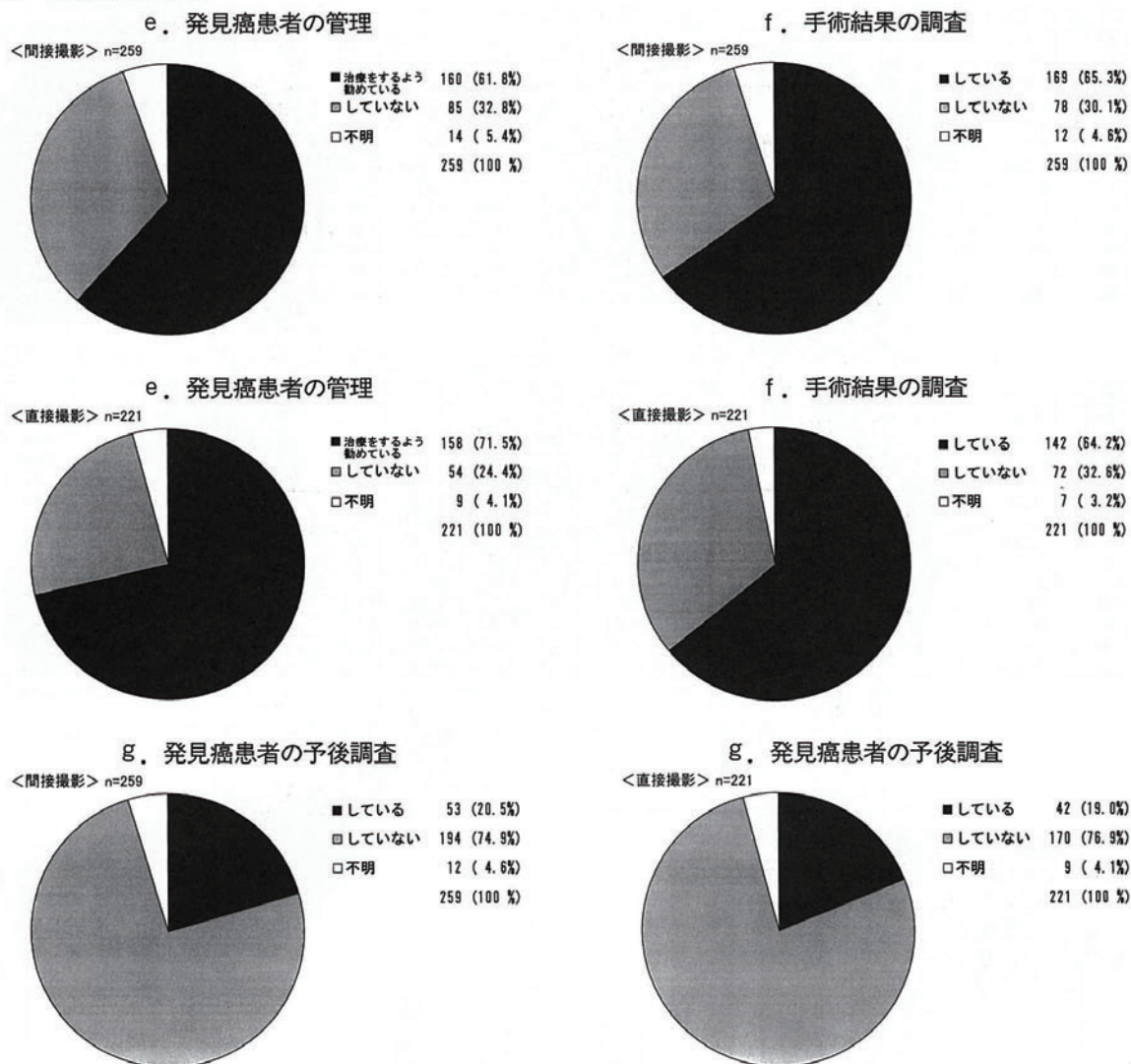


図4 精検以後の管理



X線検査であるもの5.8%,内視鏡検査であるもの82.6%,X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは1.9%であった。要精検者に対する受診勧奨をしているのは92.7%(図4-b),精検結果の把握をしているところは89.6%(図4-c),精検未受診者への受診勧奨を行っているのは69.1%(図4-d),発見胃癌患者への治療の勧奨を積極的に進めているところは61.8%(図4-e),手術結果の調査をしているところは65.3%(図4-f),またその予後調査をしているところは20.5%であっ

た(図4-g)。直接がん検診の場合は,発見癌患者への治療の勧奨をしているところが71.5%,手術結果の調査をしているところは64.2%,患者の予後調査をしているところは19.0%であった(図4-e~g)。

5. 地域・職域検診別および間接・直接がん検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると,地域検診が2,672,803人,職域検診が2,867,532人で前

表4 地域・職域検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 間接がん検診, 男女合計, 平成18年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,490,518	1,750,830	4,241,348
要 精 検 者 数	255,147	129,223	384,370
要 精 検 率	10.2 %	7.4 %	9.1 %
精検受診者数	212,164	65,947	278,111
精 検 受 診 率	83.2 %	51.0 %	72.4 %
発見胃癌数	4,131	608	4,739
発 見 率	0.166 %	0.035 %	0.112 %

表5 間接・直接がん検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 男女合計, 平成18年度)

	間接がん検診	直接がん検診	計
検 診 数	4,284,404	1,505,203	5,789,607
要 精 検 者 数	386,966	136,990	523,956
要 精 検 率	9.0 %	9.1 %	9.0 %
精検受診者数	279,764	80,431	360,195
精 検 受 診 率	72.3 %	58.7 %	68.7 %
発見胃癌数	4,766	977	5,743
発 見 率	0.111 %	0.065 %	0.099 %

図5 性・年齢階級別受診者数 (平成18年度)
(地域, 職域, 直接・間接合計)

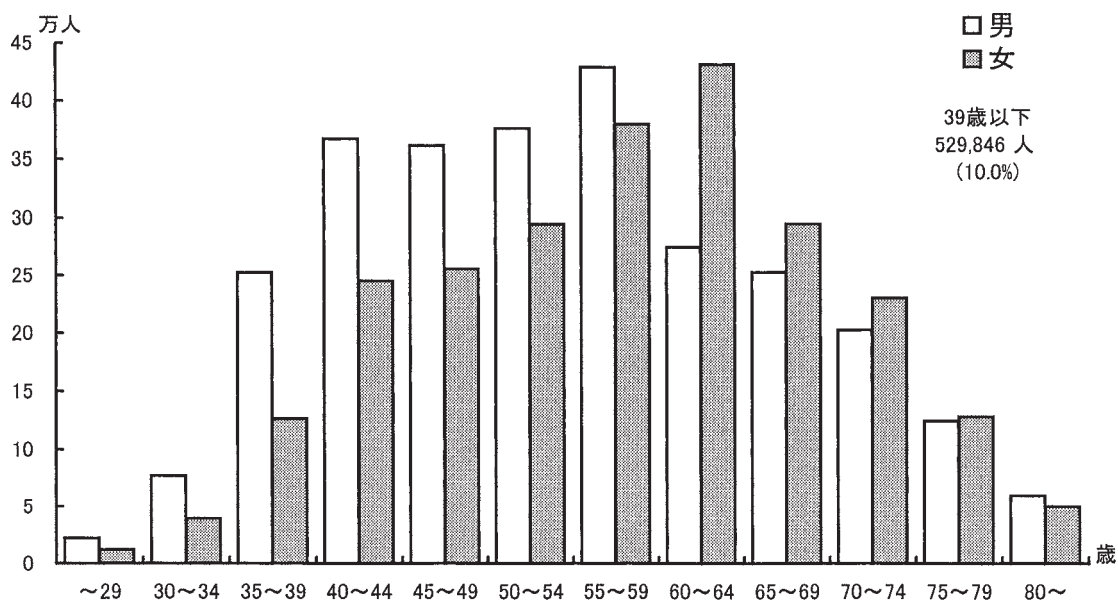


表6 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—男性—直接・間接，地域職域検診合計（平成18年度）

	総数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,810,244	22,103	77,067	252,759	367,333	361,885	376,433	429,555	275,133	252,987	202,849	124,070	58,864	9,206
B 要精検者数	288,662	839	3,457	13,248	24,832	31,031	39,466	51,254	35,162	33,555	28,358	17,708	8,394	1,358
B/A %	10.27 %	3.80 %	4.49 %	5.24 %	6.76 %	8.57 %	10.48 %	11.93 %	12.78 %	13.26 %	13.98 %	14.27 %	14.26 %	14.75 %
C 精検受診者数	189,983	431	2,007	7,105	13,899	17,021	22,128	30,265	24,128	26,314	23,495	15,009	7,091	1,090
C/B %	65.82 %	51.37 %	58.06 %	53.63 %	55.97 %	54.85 %	56.07 %	59.05 %	68.62 %	78.42 %	82.85 %	84.76 %	84.48 %	80.27 %
D 胃癌	3,861	1	4	22	42	102	198	446	553	766	802	576	299	50
D/A %	0.137 %	0.005 %	0.005 %	0.009 %	0.011 %	0.028 %	0.053 %	0.104 %	0.201 %	0.303 %	0.395 %	0.464 %	0.508 %	0.543 %
非上皮性悪性腫瘍	75	2	0	0	7	1	3	16	9	12	13	9	2	1
胃腺腫(異型上皮)	851	0	2	5	3	19	46	82	105	145	201	147	90	6
胃ポリープ	21,382	42	246	1,030	1,820	1,781	2,181	2,935	2,497	3,074	2,842	1,873	880	181
胃潰瘍	28,501	31	182	839	1,852	2,721	3,973	5,693	3,874	3,645	2,934	1,767	832	158
その他の胃良性疾患	83,442	177	866	2,992	6,032	7,499	9,638	13,206	10,631	11,747	10,481	6,714	3,107	352
異常なし	36,051	150	545	1,560	2,814	3,210	3,988	5,194	4,457	4,973	4,588	2,947	1,459	166

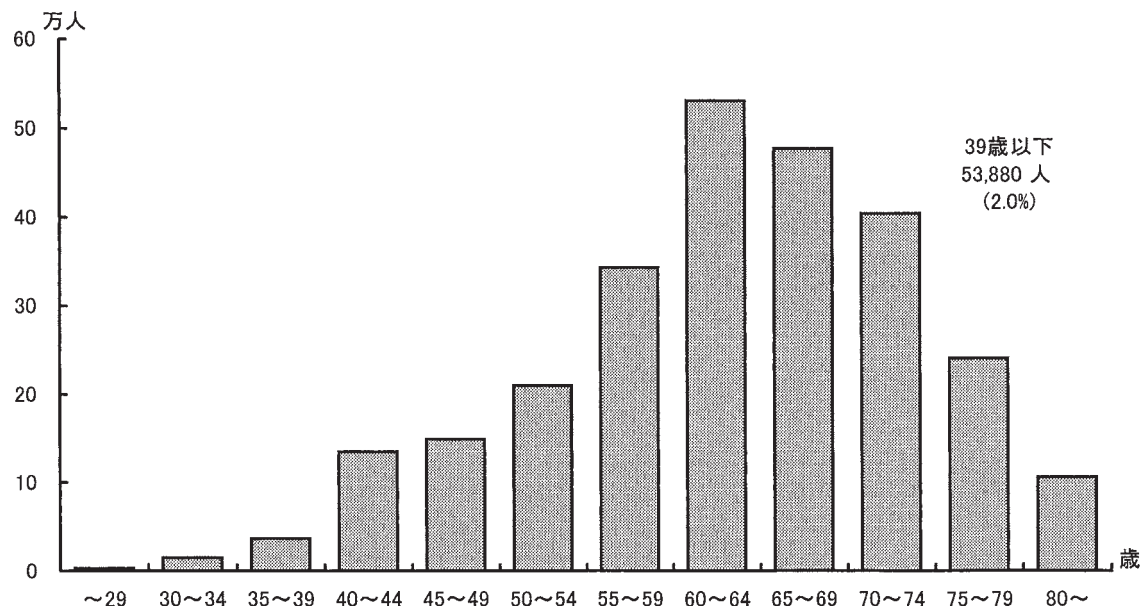
*70歳以上をさらに年齢区分していないもの

表7 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—女性—直接・間接，地域職域検診合計（平成18年度）

	総数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,499,831	11,910	39,379	126,628	245,360	256,006	294,526	380,501	432,243	295,233	230,836	127,956	49,546	9,707
B 要精検者数	190,221	420	1,898	6,970	15,690	17,306	22,036	30,024	25,823	26,810	22,655	13,800	5,776	1,013
B/A %	7.61 %	3.53 %	4.82 %	5.50 %	6.39 %	6.76 %	7.48 %	7.89 %	5.97 %	9.08 %	9.81 %	10.78 %	11.66 %	10.44 %
C 精検受診者数	151,945	291	1,416	4,767	11,280	12,243	16,169	23,332	21,526	23,159	19,853	12,123	4,955	831
C/B %	79.88 %	69.29 %	74.60 %	68.39 %	71.89 %	70.74 %	73.38 %	77.71 %	83.36 %	86.38 %	87.63 %	87.85 %	85.79 %	82.03 %
D 胃癌	1,628	1	2	16	46	67	116	211	227	283	286	225	125	23
D/A %	0.065 %	0.008 %	0.005 %	0.013 %	0.019 %	0.026 %	0.039 %	0.055 %	0.053 %	0.096 %	0.124 %	0.176 %	0.252 %	0.237 %
非上皮性悪性腫瘍	64	0	1	0	6	3	5	5	7	11	13	8	5	0
胃腺腫(異型上皮)	355	0	0	1	6	6	12	27	45	72	84	60	40	2
胃ポリープ	34,931	63	432	1,761	4,073	3,493	3,781	5,017	4,416	4,545	3,825	2,311	930	284
胃潰瘍	10,600	23	72	273	625	939	1,316	1,846	1,485	1,471	1,260	868	349	73
その他の胃良性疾患	60,113	127	554	1,556	3,449	4,149	6,194	9,380	9,015	9,874	8,481	5,099	1,978	257
異常なし	35,293	69	311	984	2,488	2,815	3,739	5,433	5,052	5,550	4,755	2,818	1,168	111

*70歳以上をさらに年齢区分していないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数（平成18年度）（直接・間接，男女合計）



者が48.2%を占めていた。地域検診と職域検診との要精検率を比較すると、地域検診で10.2%，職域検診8.1%と、その差は少なかったのに対し、精

検受診率を比較してみると、各々82.7%と52.9%であり、両者に著しい差が認められ、職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられ

図 7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成18年度）（直接・間接，男女合計）

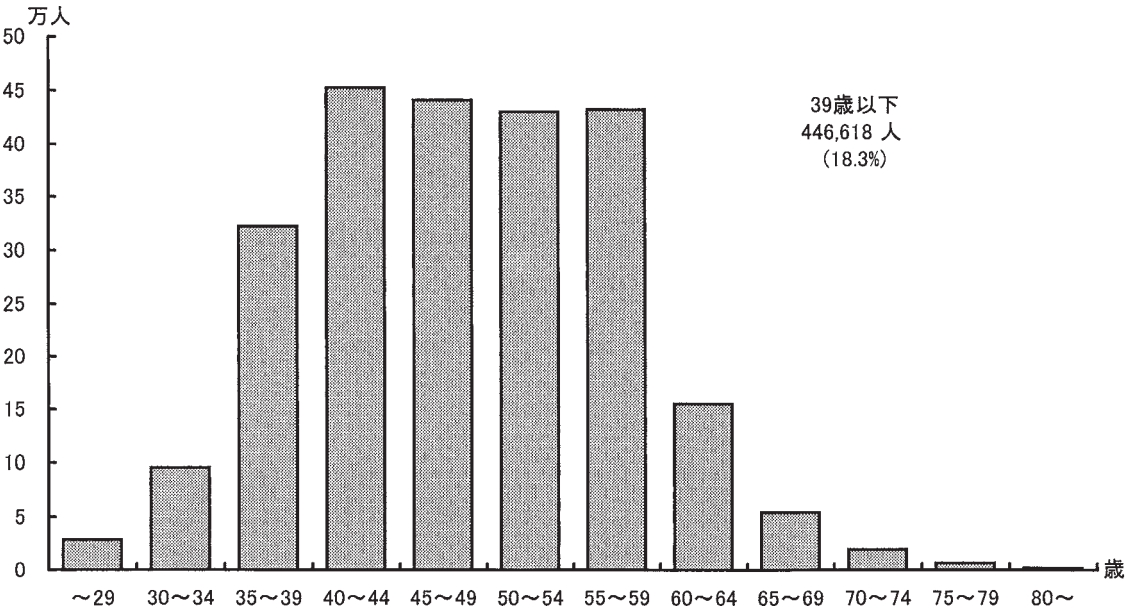


表 8 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年 度		平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
胃疾患	A	5,589	5,259	5,005	5,408	5,477	5,302	5,268	5,494
	B	7,957	7,648	6,980	7,677	7,788	7,740	7,264	7,704
	B/C	0.15	0.15	0.14	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14
胃ポリープ	A	53,610	54,588	52,938	55,688	56,970	57,874	57,831	56,987
	B	76,320	79,390	73,823	79,057	81,004	84,488	79,745	79,914
	B/C	1.48	1.54	1.51	1.53	1.58	1.65	1.55	1.49
胃潰瘍	A	48,060	45,551	42,678	43,898	41,998	39,542	39,574	39,221
	B	68,419	66,247	59,515	62,320	59,716	57,726	54,570	55,001
	B/C	1.33	1.28	1.21	1.21	1.17	1.12	1.06	1.02
受診者総数		5,156,443	5,159,236	4,902,069	5,167,204	5,111,185	5,132,087	5,133,307	5,370,924

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした
A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

表 9 治療の種類（平成18年度）

総 数	4,170
外 科 手 術	2,645
腹腔鏡下手術	404
内視鏡的治療	980
化 学 療 法	78
無 治 療	28
そ の 他	35

表10 手術の種類（平成18年度）

総 数	2,980
切 除 術	2,953
ポリープ摘除術	2
吻合術	10
単 開 腹	15
造 瘻	0

た。その結果、後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいま

表11 根治度（平成18年度）

総 数	2,734
A	2,249
B	370
C	115

表12 癌病巣の数（平成18年度）

単 発	3,762
2 個	281
3 個	42
4個以上	23
合 計	4,108

表13 発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成18年度）

部 位	病巣数	%
U	881	21.2
M	1,929	46.3
L	1,298	31.2
全 体	53	1.3
合 計	4,161	100.0

て、職域検診での胃癌発見率は0.039%と、地域検診の0.166%の4分の1未満であった（表3）。また間接がん検診について、地域と職域検診別に検討したものを表4に示した。

間接がん検診と直接がん検診を比較すると、受診者数は直接がん検診が1,505,203人、間接がん検診は4,284,404人であり、直接がん検診の2.8倍であった（表5）。要精検率は間接がん検診が9.0%、直接がん検診が9.1%と直接がん検診がやや高く、精検受診率は間接がん検診が72.3%、直接がん検診が58.7%と間接がん検診が高くなっており、胃癌発見率は間接がん検診が0.111%、直接がん検診が0.065%と間接がん検診が高かった。

表14 発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成18年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,508	36.6
大 彎	695	16.9
前 壁	746	18.1
後 壁	1,033	25.1
全 周	138	3.3
合 計	4,120	100.0

表15 発見胃癌の大きさ（平成18年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	500	13.7
1.1～2.0	961	26.3
2.1～5.0	1,599	43.8
5.1～	593	16.2
合 計	3,653	100.0

6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

直接、間接、地域、職域がん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.137%、女で0.065%、男が女の2倍以上の発見率であった。胃ポリープは男が0.76%、女が1.40%で、逆に女の方が1.8倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が1.01%、女が0.42%で、男が2.4倍であった（表6、7）。

39歳以下の受診者は男女あわせて約53万人おり、これは全受診者数の10.0%を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると、地域検診では39歳以下は男女あわせて2.0%であった。一方、職域検診では39歳以下が18.3%と、若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ、9.2倍高かった（図6、7）。

7. 発見疾患の年次推移

表8は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は、性別、5歳階

表16 切除胃癌の深達度別頻度（平成18年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,903 (100.0 %)	1,697 (43.5 %)	1,087 (27.8 %)	355 (9.1 %)	389 (10.0 %)	324 (8.3 %)	51 (1.3 %)
M + SM		MP + SS + SE + SI				
2,784 (71.3 %)		1,119 (28.7 %)				

表17 Stage 分類（平成18年度）

Stage	例 数	%
I A	2,410	64.5
I B	513	13.8
II	330	8.9
III A	217	5.8
III B	92	2.5
IV	166	4.5
計	3,728	100.0

級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち、Aは発見実数、Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で、B/Cは推定発見率である。平成18年度の推定発見率は、胃癌0.14%、胃ポリープ1.49%、胃潰瘍1.02%であった。年度別の変化をみると胃癌の発見率はほぼ一定であったが、胃潰瘍は漸減を示した。

8. 発見胃癌患者の追跡調査

1) 手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は4,170例中2,645例(63.4%)、腹腔鏡下手術は404例(9.7%)、内視鏡的治療は980例(23.5%)に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた(表9)。手術の種類では2,980例中2,953例(99.1%)に切除術が施行され、根治度Aの切除は82.3%を占めていた(表10, 11)。多発癌は4,108

表18 肉眼分類（平成18年度）

肉眼分類	例 数	%
0型	2,943	71.1
1型	153	3.7
2型	408	9.8
3型	403	9.7
4型	109	2.6
5型	129	3.1
計	4,145	100.0

表19 0型（表在型）の亜分類（平成18年度）

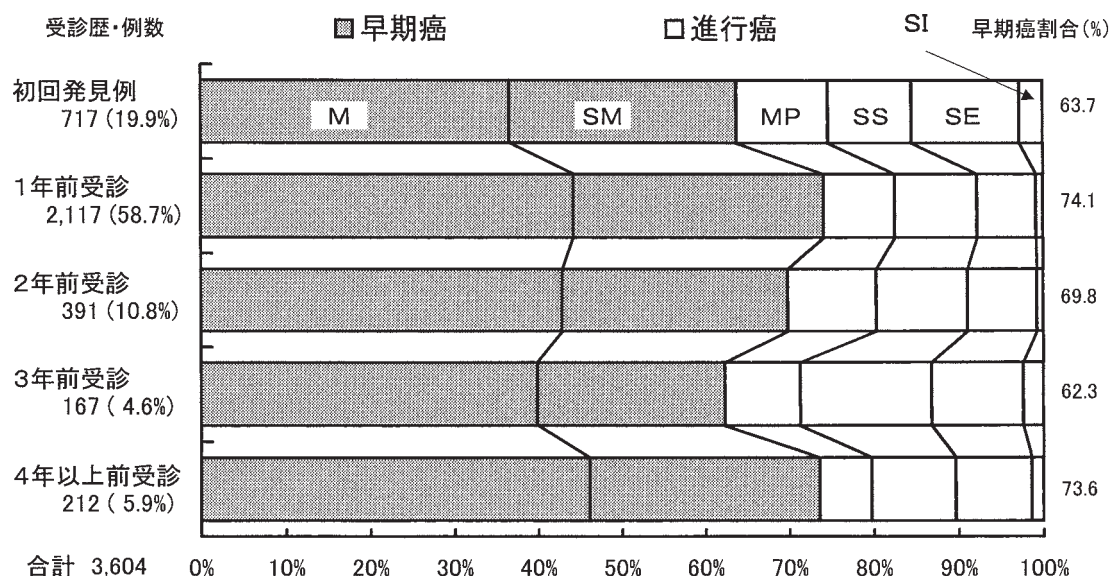
肉眼分類	例 数	%
I	151	5.1
II a	491	16.7
II a+II c	325	11.0
II b	44	1.5
II c	1,594	54.2
II c+III	100	3.4
II c+II a	80	2.7
III+II c	14	0.5
III	9	0.3
その他の組み合わせ	98	3.3
不明	37	1.3
計	2,943	100.0

例中346例(8.4%)を占めていた(表12)。

2) 占居部位

発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが21.2%、Mが46.3%、Lが31.2%であった(表13)。壁在性でみると小彎が36.6%で最も多く、次いで

図8 発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成18年度）

表20 内視鏡胃がん検診の全国集計成績
（平成18年度）

受診者総数	179,386 人
男	98,189 人 (54.7%)
女	81,197 人 (45.3%)
発見疾患と発見率	
胃がん	439 (0.24%)
（うち早期癌 262名）	(0.15%)
胃潰瘍	8,838 (4.93%)
胃ポリープ	16,870 (9.40%)

（年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計）

表21 大腸がん検診全国集計対象機関の区分
（平成18年度）

	機関数
I 群 性・年齢別に受診者、要精検者、精検受診者、発見大腸癌患者が把握され、且つ癌患者の個人票の揃っているもの	185
II 群 性・年齢別に集計されていないもの及び集計数のみ判明するもの	36
計	221

後壁が25.1%で、前年度とほぼ同様な傾向がみられた（表14）。

表22 大腸がん検診の対象（重複回答）
（平成18年度）

地域	職域	個人	検診機関数
185 (83.7%)	164 (74.2%)	53 (24.0%)	221

表23 大腸がん検診の Screening の方法
（平成18年度）

(1) 検便法	111 (50.2%)
(2) 検便法+問診	126 (57.0%)
(3) 直接法	14 (6.3%)
検診機関数	221

3) 大きさ

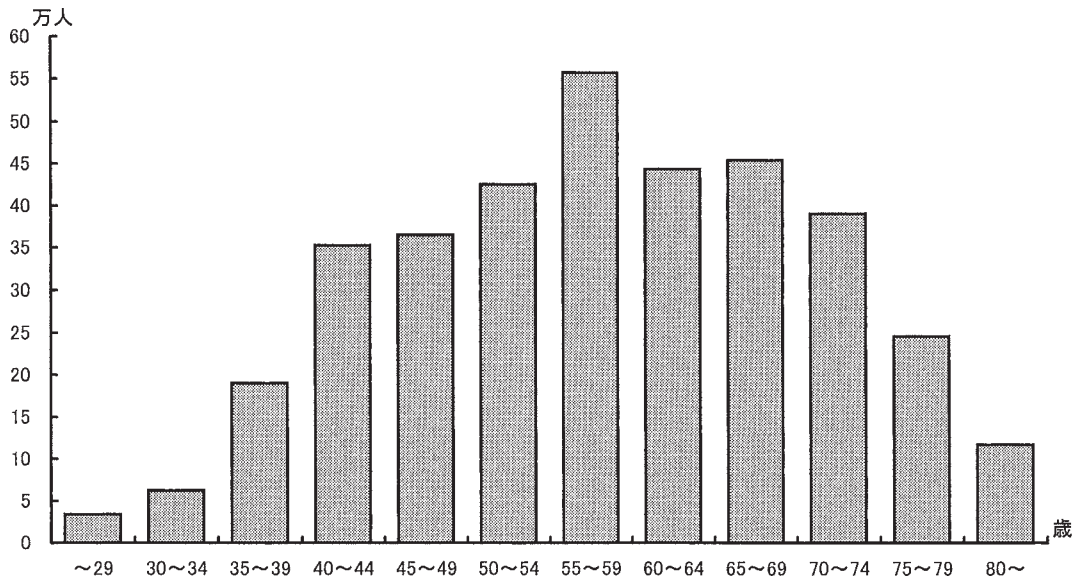
長径1cm以下の小胃癌が13.7%，1.1～2.0cmが26.3%で、あわせて40.0%であった（表15）。

4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると、M癌が43.5%，SM癌が27.8%，あわせて71.3%であり、検診発見胃癌の2/3以上は早期癌であった（表16）。

表24 大腸がん検診成績（男女計，平成18年度）

	地域	職域	個人	計
(1) 受診者数	2,393,216	1,623,687	204,160	4,221,063
(2) 要精検者数 (2) ÷ (1) (%)	161,371 (6.7 %)	88,783 (5.5 %)	12,998 (6.4 %)	263,152 (6.2 %)
(3) 精検受診者数 (3) ÷ (2) (%)	118,325 (73.3 %)	32,141 (36.2 %)	7,583 (58.3 %)	158,049 (60.1 %)
(4) 大腸癌患者数 (4) ÷ (1) (%)	4,983 (0.208 %)	736 (0.045 %)	251 (0.123 %)	5,970 (0.141 %)

図9 大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布
(地域，職域，個人，男女計，平成18年度，総数3,640,421名)

5) Stage 分類

Stage I Aは64.5%と過半数を占めており、Stage IVは4.5%であった（表17）。

6) 肉眼分類

0型（表在型）が71.1%と最も多く，そのうちII c型が54.2%と過半数を占めた。4型は2.6%であった（表18，19）。

7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,604例について，集検受診歴区分でみると，初回発見例が全胃癌のう

ち19.9%を占め，1年前受診例，即ち2年連続受診で発見されたものが58.7%を占めた（図8）。

各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると，初回発見例が63.7%で，一年前，二年前，三年前，四年以上前受診群の早期胃癌の割合は各々74.1%，69.8%，62.3%，73.6%であった。一年前に受診歴のある例では，受診歴のない例および3年前に受診歴のある例に対して，統計学的有意差をもって，早期癌を高率に認めた（図8）。

図10 大腸がん検診の要精検率および精検受診率
(地域、職域、個人、男女計、平成18年度)

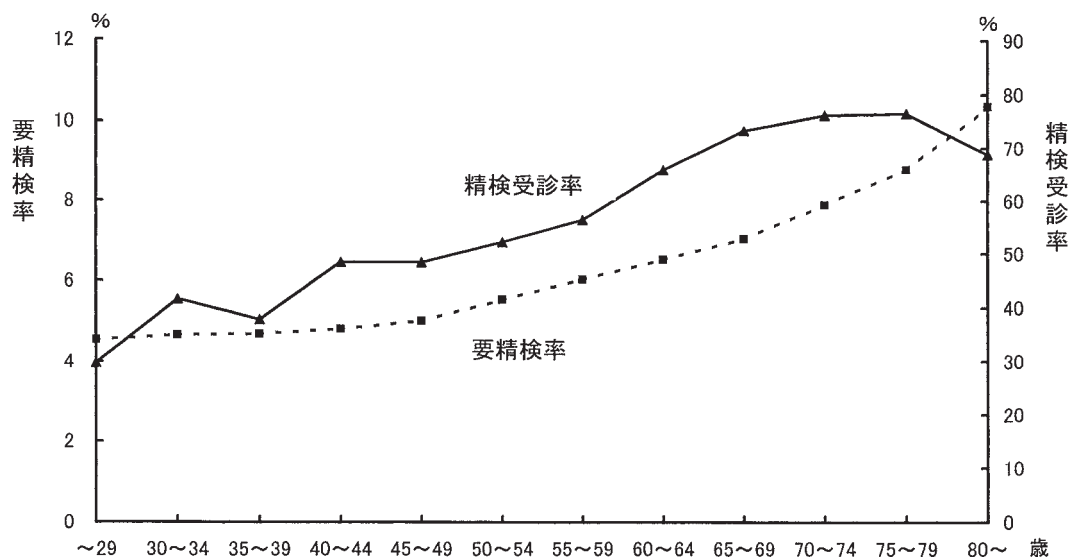
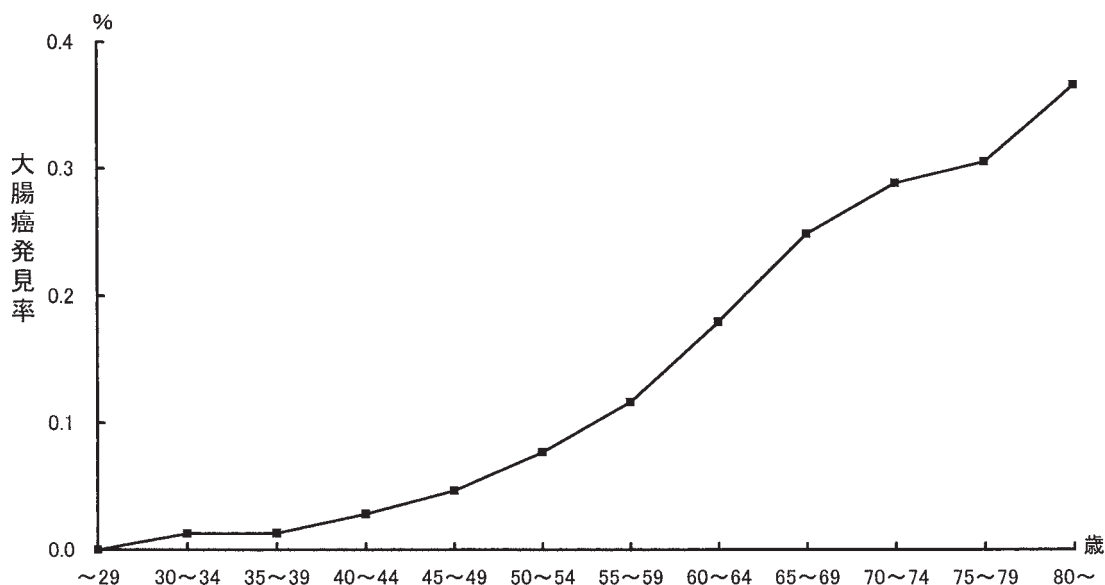


図11 大腸がん検診の大腸癌発見率
(地域、職域、個人、男女計、平成18年度)



9. 内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた、いわゆる内視鏡胃がん検診は、X線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細

ながん検診成績の回答は求めず、前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に、年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると、

図12 大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域，職域，個人，男女計，平成18年度）

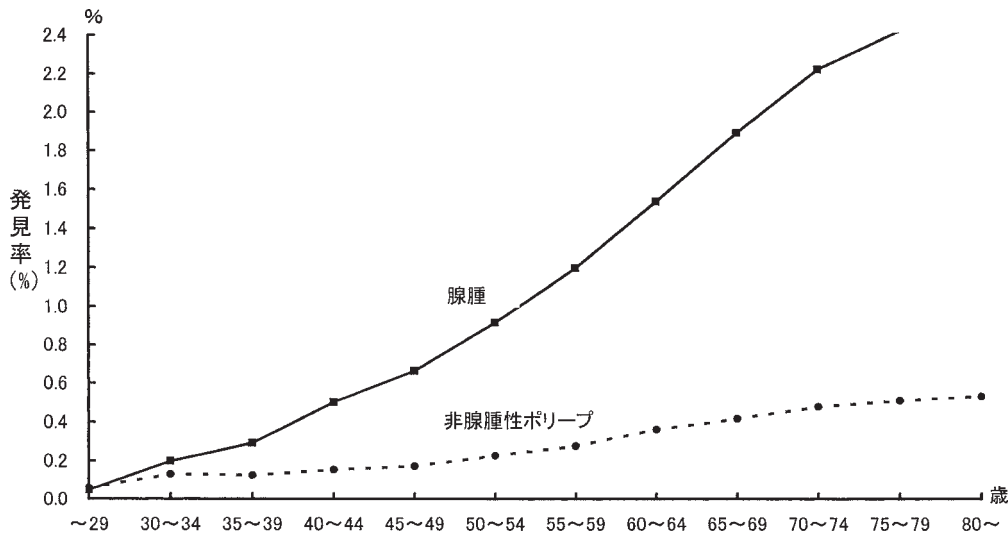


表25 大腸がん検診全国集計成績—男性—地域・職域，個人検診合計（平成18年度）

	総数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,820,268	21,276	37,818	122,851	200,704	202,743	220,242	269,353	193,311	199,087	174,268	114,251	57,184	7,180
B 要精検者数	133,372	824	1,629	5,614	9,914	11,077	14,491	20,304	15,986	17,439	16,842	11,828	6,526	898
B/A %	7.33 %	3.87 %	4.31 %	4.57 %	4.94 %	5.46 %	6.58 %	7.54 %	8.27 %	8.76 %	9.66 %	10.35 %	11.41 %	12.51 %
C 精検受診者数	77,175	262	673	2,009	4,469	4,997	6,742	9,878	9,378	12,041	12,471	8,940	4,634	681
C/B %	57.86 %	31.80 %	41.31 %	35.79 %	45.08 %	45.11 %	46.53 %	48.65 %	58.66 %	69.05 %	74.05 %	75.58 %	71.01 %	75.84 %
D 大腸癌	3,343	0	3	14	47	89	195	364	478	687	704	459	261	42
D/A %	0.184 %	0.000 %	0.008 %	0.011 %	0.023 %	0.044 %	0.089 %	0.135 %	0.247 %	0.345 %	0.404 %	0.402 %	0.456 %	0.585 %
カルチノイド	32	0	1	2	3	6	3	8	2	2	3	2	0	0
腺腫性ポリープ	31,321	11	83	404	1,246	1,767	2,727	4,397	4,125	5,347	5,411	3,658	1,786	359
非腺腫性ポリープ	6,901	12	48	173	345	433	646	924	916	1,112	1,118	778	381	15
潰瘍性大腸炎	541	7	16	39	65	69	53	85	48	51	47	39	15	7
クローン氏病	25	0	0	3	12	2	2	1	2	1	1	0	1	0
大腸憩室	5,477	13	34	108	280	342	419	665	681	834	922	704	408	69
その他良性疾患	6,700	51	122	296	621	548	597	767	699	903	958	755	351	32
異常なし	21,404	159	352	939	1,776	1,648	1,978	2,516	2,274	2,886	3,060	2,356	1,318	142

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

内視鏡がん検診の受診者総数は179,386人，発見胃癌439例（発見率0.24%），うち早期癌は262例（59.7%）を占めた。発見率は高率であった（表20）。

Ⅱ 大腸がん検診全国集計

平成18年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は221ヵ所で，検診の統計をよく行っているⅠ群の割合は83.7%であった（表21）。

1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表22に示すように重複回答であるが，地域検診は83.7%，職域検診は74.2

%，個人検診は24.0%で行われていた。

2. 大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は，検便法だけによるものが50.2%，検便法に問診を加えた方法が57.0%であった（表23）。

3. 大腸検診の成績

平成18年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は4,221,063人で前年度に比べ約16万人（3.8%）増加していた。大腸癌発見数は5,970例（0.141%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見

表26 大腸がん検診全国集計成績—女性—地域・職域，個人検診合計（平成18年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,836,396	12,485	24,246	67,501	151,996	162,647	205,712	288,750	251,021	255,830	216,359	131,435	59,351	9,063
B 要精検者数	99,848	711	1,267	3,307	7,063	7,270	9,070	13,354	12,997	14,589	14,018	9,774	5,559	869
B/A %	5.44 %	5.69 %	5.23 %	4.90 %	4.65 %	4.47 %	4.41 %	4.62 %	5.18 %	5.70 %	6.48 %	7.44 %	9.37 %	9.59 %
C 精検受診者数	68,520	196	532	1,371	3,759	3,885	5,544	9,096	9,717	11,433	11,048	7,593	3,684	662
C/B %	68.62 %	27.57 %	41.99 %	41.46 %	53.22 %	53.44 %	61.12 %	68.11 %	74.76 %	78.37 %	78.81 %	77.69 %	66.27 %	76.18 %
D 大腸癌	2,254	0	5	11	53	81	131	286	322	442	423	292	167	41
D/A %	0.123 %	0.000 %	0.021 %	0.016 %	0.035 %	0.050 %	0.064 %	0.099 %	0.128 %	0.173 %	0.196 %	0.222 %	0.281 %	0.452 %
カルチノイド	27	1	0	2	3	4	4	3	5	3	2	0	0	0
腺腫性ポリープ	17,820	5	40	150	527	657	1,180	2,297	2,712	3,267	3,284	2,299	1,120	282
非腺腫性ポリープ	4,360	8	33	66	200	192	317	612	686	781	745	473	237	10
潰瘍性大腸炎	541	7	7	29	64	45	42	87	74	68	59	34	17	8
クローン氏病	6	0	0	1	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0
大腸憩室	4,897	2	13	34	153	196	306	613	676	870	867	710	387	70
その他良性疾患	7,811	37	89	209	532	511	724	1,067	1,099	1,261	1,123	735	359	65
異常なし	29,164	119	331	815	2,135	2,102	2,690	3,911	3,932	4,509	4,303	2,849	1,292	176

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表27 地域大腸がん検診全国集計成績—男性—（平成18年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	834,235	1,351	3,801	6,903	30,443	37,639	53,671	85,773	119,943	166,801	159,303	107,268	54,257	7,082
B 要精検者数	72,358	61	178	363	1,672	2,239	3,682	6,490	9,853	14,434	15,266	11,038	6,172	890
B/A %	8.67 %	4.52 %	4.68 %	5.26 %	5.49 %	5.95 %	6.86 %	7.57 %	8.21 %	8.65 %	9.60 %	10.29 %	11.38 %	12.57 %
C 精検受診者数	51,746	36	109	216	1,004	1,321	2,240	4,170	6,864	10,601	11,621	8,432	4,453	679
C/B %	71.51 %	59.02 %	61.24 %	59.50 %	60.05 %	59.00 %	60.84 %	64.25 %	69.66 %	73.44 %	76.02 %	78.39 %	72.15 %	76.29 %
D 大腸癌	2,669	0	1	2	12	35	77	173	356	622	661	434	254	42
D/A %	0.320 %	0.000 %	0.026 %	0.029 %	0.039 %	0.093 %	0.143 %	0.202 %	0.297 %	0.373 %	0.415 %	0.405 %	0.468 %	0.593 %
カルチノイド	15	0	0	0	0	2	1	4	1	2	3	2	0	0
腺腫性ポリープ	22,064	5	11	50	269	472	876	1,821	3,064	4,792	5,113	3,495	1,737	359
非腺腫性ポリープ	4,545	2	9	19	107	137	219	407	646	920	990	719	355	15
潰瘍性大腸炎	239	1	2	2	14	10	18	25	25	44	43	35	13	7
クローン氏病	5	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0
大腸憩室	3,740	1	6	8	66	90	139	252	488	724	860	658	379	89
その他良性疾患	3,966	9	16	31	118	137	184	318	498	771	847	674	331	32
異常なし	13,549	17	61	100	399	418	693	1,108	1,674	2,539	2,877	2,242	1,279	142

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表28 地域大腸がん検診全国集計成績—女性—（平成18年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,342,845	1,719	6,322	13,289	72,944	79,917	119,570	201,583	214,589	235,717	205,626	125,934	56,834	9,001
B 要精検者数	75,952	101	357	663	3,509	3,490	5,318	9,254	11,073	13,412	13,287	9,344	5,281	863
B/A %	5.66 %	5.88 %	5.65 %	4.99 %	4.81 %	4.37 %	4.45 %	4.59 %	5.16 %	5.89 %	6.48 %	7.42 %	9.32 %	9.59 %
C 精検受診者数	57,805	46	216	412	2,269	2,323	3,853	7,084	8,732	10,734	10,597	7,325	3,555	659
C/B %	76.11 %	45.54 %	60.50 %	62.14 %	64.66 %	66.56 %	72.45 %	76.55 %	78.86 %	80.03 %	79.75 %	78.39 %	67.32 %	76.36 %
D 大腸癌	2,006	0	1	7	38	52	91	230	277	423	404	280	162	41
D/A %	0.149 %	0.000 %	0.016 %	0.053 %	0.052 %	0.065 %	0.076 %	0.114 %	0.129 %	0.179 %	0.196 %	0.222 %	0.286 %	0.456 %
カルチノイド	19	0	0	1	1	2	3	2	5	3	2	0	0	0
腺腫性ポリープ	15,725	0	19	53	318	388	804	1,778	2,487	3,095	3,171	2,243	1,087	282
非腺腫性ポリープ	3,655	1	15	19	117	121	221	477	598	713	692	444	227	10
潰瘍性大腸炎	349	2	2	8	38	14	21	45	51	57	55	32	16	8
クローン氏病	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
大腸憩室	4,209	0	3	9	84	102	200	453	589	813	822	690	374	70
その他良性疾患	6,308	8	38	66	315	318	505	824	958	1,151	1,048	682	330	65
異常なし	24,289	31	135	230	1,310	1,275	1,930	3,125	3,584	4,284	4,189	2,765	1,256	175

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

率は地域検診0.208%，職域検診0.045%，個人検診0.123%であった（表24）。

地域，職域，個人検診のうち，年齢が5歳階級別に報告された男女合計3,640,421人について年齢別頻度を検討すると，受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代が合わせて51.7%と過半数を占め

た。39歳以下は7.9%，また70歳以上は20.7%を占めた（図9）。要精検率をみると，ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は，胃がん検診に比較して低い傾向がみられた（図10）。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに，70歳代の発見率は，全年齢層の平均の1.9倍

表29 検診発見大腸癌の受診前歴
(男女計, 平成18年度)

初回受診者	1,324 名	(30.8 %)
1年前 "	2,057 名	(47.9 %)
2年前 "	393 名	(9.2 %)
3年前 "	182 名	(4.2 %)
4年以上前 "	339 名	(7.9 %)
計	4,295 名	(100.0 %)

表30 治療の方法
(男女計, 平成18年度)

外科手術	1,878	(41.3 %)
腹腔鏡下手術	493	(10.8 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,157	(25.5 %)
内視鏡的粘膜切除 (含: 粘膜下層剥離術)	930	(20.5 %)
無治療	19	(0.4 %)
その他	69	(1.5 %)
計	4,546	(100.0 %)

表31 手術の種類
(男女計, 平成18年度)

結腸切除	1,601	(71.1 %)
直腸切除	534	(23.7 %)
直腸切斷 (人工肛門造設)	75	(3.3 %)
その他	43	(1.9 %)
計	2,253	(100.0 %)

であった(図11)。大腸腺腫の発見率は1.2%で、これは大腸癌の8.8倍の頻度であり、発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.28%で、大腸癌の2.0倍の発見率であった(図12)。

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を表25, 26に示した。受診者のピークは男女とも50歳代後半であった。大腸癌発見率は男0.184%, 女0.123%であった。

表32 癌病巣の数
(男女計, 平成18年度)

単発	4,119	(93.9 %)
2個	212	(4.8 %)
3個	27	(0.6 %)
4個以上	32	(0.7 %)
計	4,390	(100.0 %)

表33 癌病巣の部位
(男女計, 平成18年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	17 (0.4 %)
直 腸 (R)	1,059 (23.5 %)
直腸S状部 (RS)	381 (8.4 %)
S 状 結 腸 (S)	1,365 (30.2 %)
下 行 結 腸 (D)	274 (6.1 %)
横 行 結 腸 (T)	438 (9.7 %)
上 行 結 腸 (A)	696 (15.4 %)
盲 腸 (C)	278 (6.2 %)
虫 垂 (V)	4 (0.1 %)
計	4,512 (100.0 %)

表34 肉眼分類
(男女計, 平成18年度)

0型	2,784	(62.6 %)
1型	304	(6.8 %)
2型	1,216	(27.3 %)
3型	118	(2.6 %)
4型	11	(0.2 %)
5型	24	(0.5 %)
計	4,457	(100.0 %)

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計成績を、表27, 28に示した。受診者のピークは男女とも60歳代後半であった。大腸癌発見率は男

表35 O型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成18年度）

I p	689	(24.8 %)
I sp	916	(33.0 %)
I s	410	(14.7 %)
II a	426	(15.3 %)
II a+II c	157	(5.6 %)
II b	9	(0.3 %)
II c	59	(2.1 %)
その他	68	(2.4 %)
不 明	50	(1.8 %)
計	2,784	(100.0 %)

表36 大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成18年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	962	(23.7 %)
1.1～2.0	1,376	(33.9 %)
2.1～5.0	1,455	(35.8 %)
5.1～	266	(6.6 %)
計	4,059	(100.0 %)

0.320%，女0.149%と高率であった。

4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち，30.8%は初回受診者，47.9%は1年前受診者であった（表29）。

2) 治療の方法

外科手術は1,878例（41.3%），腹腔鏡下手術は493例（10.8%），内視鏡的ポリペクトミーは1,157例（25.5%），内視鏡的粘膜切除（含：粘膜下層剥離術）は930例（20.5%）に行われた（表30）。

表37 大腸癌の環周度
（男女計，平成18年度）

1/3 以下	2,469	(69.4 %)
1/2 以下	502	(14.1 %)
3/4 以下	233	(6.6 %)
3/4 以上	146	(4.1 %)
全 周	205	(5.8 %)
計	3,555	(100.0 %)

表38 大腸癌の Stage 分類
（男女計，平成18年度）

Stage O	1,384	(38.6 %)
Stage I	991	(27.7 %)
Stage II	511	(14.3 %)
Stage III a	421	(11.7 %)
Stage III b	152	(4.2 %)
Stage IV	124	(3.5 %)
計	3,583	(100.0 %)

表39 大腸癌の深達度
（男女計，平成18年度）

M	1,975	(44.9 %)
S M	893	(20.3 %)
M P	478	(10.9 %)
S S	776	(17.7 %)
S E (A)	235	(5.4 %)
S I (A I)	33	(0.8 %)
計	4,390	(100.0 %)

3) 手術の種類

手術のうち，結腸切除術が1,601例（71.1%），直腸切除術が534例（23.7%），人工肛門を造設した直腸切断術は75例（3.3%）であった（表31）。

表40 大腸癌の Dukes 分類
(男女計, 平成18年度)

Dukes A	2,403	(70.6 %)
Dukes B	372	(10.9 %)
Dukes C	630	(18.5 %)
計	3,405	(100.0 %)

表41 転移の有無
(男女計, 平成18年度)

	a. リンパ節転移	b. 遠隔転移
なし	2,673 (80.9 %)	3,307 (97.0 %)
あり	630 (19.1 %)	102 (3.0 %)
計	3,303 (100.0 %)	3,409 (100.0 %)

表42 大腸癌の組織型分類
(男女計, 平成18年度)

乳頭腺癌	(pap)	579	(14.6 %)
高分化管状腺癌	(tub1)	2,311	(58.3 %)
中分化管状腺癌	(tub2)	821	(20.7 %)
低分化腺癌	(por)	38	(1.0 %)
粘液癌	(muc)	52	(1.3 %)
印環細胞癌	(sig)	4	(0.1 %)
その他		158	(4.0 %)
計		3,963	(100.0 %)

表43 食道がん検診の全国集計成績 (平成18年度)

受診者総数	745,227 人
男	520,778 人 (69.9 %)
女	224,449 人 (30.1 %)
発見疾患と発見率	
食道癌	72 名 (0.01 %)
食道ポリープ	884 名 (0.12 %)
食道炎	6,261 名 (0.84 %)
バレット潰瘍	198 名 (0.03 %)
静脈瘤	243 名 (0.03 %)
その他の疾患	17,234 名 (2.31 %)

表44 肝胆脾検診の全国集計成績 (平成18年度)

受診者総数	975,992 人
男	549,693 人 (56.3 %)
女	426,299 人 (43.7 %)
発見疾患と発見率	
肝癌(原発性)	79 名 (0.008 %)
肝癌(転移性)	28 名 (0.003 %)
肝硬変症	409 名 (0.04 %)
脂肪肝	176,737 名 (18.1 %)
肝嚢胞	103,775 名 (10.6 %)
胆嚢癌	25 名 (0.003 %)
胆嚢ポリープ	100,611 名 (10.3 %)
胆石症	30,597 名 (3.1 %)
脾癌	71 名 (0.007 %)
脾石症	315 名 (0.032 %)
脾嚢胞	3,679 名 (0.38 %)
腎癌	142 名 (0.015 %)

4) 癌病巣の数

単発は4,119例 (93.9%), 多発は271例 (6.1%) であった (表32)。

5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は4,512例中, 最も多いのがS状結腸で1,365例 (30.2%), ついで直腸の1,059例 (23.5%) であり (表33), 両者で過半数を占めた。

6) 大腸癌の肉眼分類

0型が2,784例 (62.6%) と最も多くみられた。そのうちI s P型が916例 (33.0%) で, II c型は59例 (2.1%) のみであった。また2型が1,216例

(27.3%) と多く, 4型は11例 (0.2%) のみであった (表34, 35)。

7) 大きさと環周度

直径1.0cm以下のもの962例 (23.7%), 1.1~2.0 cmが1,376例 (33.9%) と2 cm以下が過半数を占めた (表36)。環周度は1/3以下が2,469例 (69.4%) で2/3を占め, 全周性が205例 (5.8%) に認められた (表37)。

8) Stage 分類

Stage 0 と Stage I で2,375例 (66.3%) と約2/3を占めた。Stage IVは124例 (3.5%) であった (表38)。

9) 深達度分類

Mは1,975例 (44.9%), SMは893例 (20.3%) であり、合計で65.2%と早期癌が全体の2/3を占めた。進行癌を深達度別にみると、MP478例 (10.9%), SS776例 (17.7%), SE(A) 235例 (5.4%), SI (AI) 33例 (0.8%) であった (表39)。

10) Dukes 分類

Dukes Aは2,403例 (70.6%) であった (表40)。

11) 転移の有無

リンパ節転移ありは3,303例中630例 (19.1%) であった。遠隔転移ありは3,409例中102例 (3.0%) であった (表41)。

12) 組織型分類

病理組織検査を行った3,963例中、高分化管状腺癌が2,311例 (58.3%) で最も多く、ついで、中分化管状腺癌が821例 (20.7%) であった (表42)。

III 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

1. 食道がん検診

食道がん検診の受診者総数は745,227人であった。また、発見食道癌は72例 (0.01%), 食道ポリープ884例 (0.12%), 食道炎6,261例 (0.84%) であった (表43)。

2. 肝胆膵検診

肝胆膵検診の受診者総数は975,992人であった。発見疾患は、脂肪肝18.1%, 肝嚢胞10.6%, 胆嚢ポリープ10.3%, 胆石症3.1%であり、少数例ではあるが肝硬変症409例 (0.04%), 原発性肝癌79例 (0.008%), 転移性肝癌28例 (0.003%), 胆嚢癌25例 (0.003%), 膵癌71例 (0.007%), 腎癌142例

(0.015%) が発見された (表44)。

IV まとめ

平成18年度の消化器がん検診全国集計について要約すると以下ようになる。

(1) 胃がん検診については、受診者総数が5,789,607人で、前年度比-1.9%, 約11万人の減少、発見胃癌は5,743例 (発見率0.099%) であった。地域検診は、全体の48.2%の約267万人であった。

(2) 大腸がん検診は全国で4,221,063人、前年度比+3.8%, 約16万人の増加、発見大腸癌5,970例 (発見率0.141%) であった。

なお、アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関、および学会の役職員や事務局の方々、各県の全国集計協力委員、認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

V 補足「各支部・都道府県別検診成績」

表45 (次頁)

今回も、学会誌の「委員会報告」に、各支部と都道府県別の検診成績を載せています。各支部および、都道府県によるバラツキが明瞭と思います。集計数「0」の県は、本集計に、全く協力いただいていないという現況で、全国の対がん協会発表の数値より低い県と併せて、本集計作業の問題点が残されていると思います。今後、できるだけ多くの施設のご協力を得て、さらに精度の高い集計をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

表45
 胃がん検診

		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	胃癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	胃癌 発見率	適中度	D票 回収率
全 国		5,789,607	523,956	360,195	5,743	4,372	9.05	68.7	0.099	1.10	76.1
支 部 別	北海道	377,185	32,208	23,503	416	396	8.54	73.0	0.110	1.29	95.2
	東 北	1,023,983	98,986	75,932	1,384	1,241	9.67	76.7	0.135	1.40	89.7
	関東甲信越	1,635,850	144,948	89,672	1,668	1,013	8.86	61.9	0.102	1.15	60.7
	東海北陸	729,457	64,631	38,679	545	333	8.86	59.8	0.075	0.84	61.1
	近 畿	641,838	68,323	52,501	555	416	10.64	76.8	0.086	0.81	75.0
	中国四国	435,005	35,317	25,515	436	311	8.12	72.2	0.100	1.23	71.3
	九 州	946,289	79,543	54,393	739	662	8.41	68.4	0.078	0.93	89.6
北海道	北海道	377,185	32,208	23,503	416	396	8.54	73.0	0.110	1.29	95.2
東 北	青 森	113,064	9,947	7,703	117	113	8.80	77.4	0.103	1.18	96.6
	岩 手	181,900	15,127	12,015	216	203	8.32	79.4	0.119	1.43	94.0
	秋 田	82,208	10,009	7,540	137	109	12.18	75.3	0.167	1.37	79.6
	宮 城	294,764	24,485	18,023	424	399	8.31	73.6	0.144	1.73	94.1
	山 形	197,613	21,100	16,270	242	226	10.68	77.1	0.122	1.15	93.4
	福 島	154,434	18,318	14,381	248	191	11.86	78.5	0.161	1.35	77.0
関 東 甲 信 越	茨 城	169,310	21,026	15,892	244	226	12.42	75.6	0.144	1.16	92.6
	群 馬	124,775	12,038	8,033	153	134	9.65	66.7	0.123	1.27	87.6
	栃 木	63,969	4,796	3,351	72	69	7.50	69.9	0.113	1.50	95.8
	埼 玉	87,459	9,659	6,583	118	81	11.04	68.2	0.135	1.22	68.6
	千 葉	214,394	23,279	16,025	241	43	10.86	68.8	0.112	1.04	17.8
	東 京	257,812	15,132	7,710	144	144	5.87	51.0	0.056	0.95	100.0
	神奈川	313,589	26,939	8,061	143	82	8.59	29.9	0.046	0.53	57.3
	山 梨	69,976	5,558	3,723	59	47	7.94	67.0	0.084	1.06	79.7
	長 野	95,083	11,214	8,182	84	14	11.79	73.0	0.088	0.75	16.7
	新 潟	239,483	15,307	12,112	410	173	6.39	79.1	0.171	2.68	42.2
東 海 北 陸	富 山	66,653	6,179	4,321	81	47	9.27	69.9	0.122	1.31	58.0
	石 川	58,739	6,204	4,823	81	75	10.56	77.7	0.138	1.31	92.6
	福 井	29,559	3,159	2,121	44	42	10.69	67.1	0.149	1.39	95.5
	静 岡	152,959	12,774	7,688	84	48	8.35	60.2	0.055	0.66	57.1
	愛 知	255,109	23,376	12,574	154	60	9.16	53.8	0.060	0.66	39.0
	三 重	73,420	3,774	1,190	17	12	5.14	31.5	0.023	0.45	70.6
	岐 阜	93,018	9,165	5,962	84	49	9.85	65.1	0.090	0.92	58.3

胃がん検診		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	胃癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	胃癌 発見率	適中度	D票 回収率
近畿	滋賀	48,488	3,846	2,026	36	13	7.93	52.7	0.074	0.94	36.1
	奈良	31,939	1,541	1,006	33	31	4.82	65.3	0.103	2.14	93.9
	京都	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	大阪	317,336	39,474	33,410	273	203	12.44	84.6	0.086	0.69	74.4
	和歌山	26,162	2,699	1,591	12	5	10.32	58.9	0.046	0.44	41.7
	兵庫	217,913	20,763	14,468	201	164	9.53	69.7	0.092	0.97	81.6
中国四国	鳥取	23,922	1,932	1,432	33	25	8.08	74.1	0.138	1.71	75.8
	島根	37,802	2,964	1,894	28	25	7.84	63.9	0.074	0.94	89.3
	岡山	64,261	4,898	2,838	36	6	7.62	57.9	0.056	0.73	16.7
	広島	74,595	5,960	4,010	70	49	7.99	67.3	0.094	1.17	70.0
	山口	43,326	4,125	2,819	40	1	9.52	68.3	0.092	0.97	2.5
	香川	32,151	2,290	2,103	62	56	7.12	91.8	0.193	2.71	90.3
	徳島	21,039	1,359	1,114	18	18	6.46	82.0	0.086	1.32	100.0
	愛媛	78,495	7,021	5,427	75	64	8.94	77.3	0.096	1.07	85.3
	高知	59,414	4,768	3,878	74	67	8.03	81.3	0.125	1.55	90.5
九州	福岡	365,562	25,067	14,418	254	220	6.86	57.5	0.069	1.01	86.6
	佐賀	35,354	4,894	4,135	66	66	13.84	84.5	0.187	1.35	100.0
	長崎	38,002	3,060	2,524	40	32	8.05	82.5	0.105	1.31	80.0
	熊本	143,906	15,273	10,250	105	105	10.61	67.1	0.073	0.69	100.0
	大分	100,158	7,469	5,782	56	41	7.46	77.4	0.056	0.75	73.2
	宮崎	44,878	4,230	3,491	54	47	9.43	82.5	0.120	1.28	87.0
	鹿児島	135,449	11,873	9,848	132	126	8.77	82.9	0.097	1.11	95.5
	沖縄	82,980	7,677	3,945	32	25	9.25	51.4	0.039	0.42	78.1

大腸がん検診		受診者数	要 精検者数	精検 受診者数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精検率	精検 受診率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
全 国		4,221,063	263,152	158,049	5,970	4,689	6.23	60.1	0.141	2.27	78.5
支 部 別	北海道	202,592	15,326	12,459	403	394	7.56	81.3	0.199	2.63	97.8
	東 北	940,667	57,704	39,610	1,609	1,332	6.13	68.6	0.171	2.79	82.8
	関東甲信越	1,022,178	62,262	31,290	1,327	808	6.09	50.3	0.130	2.13	60.9
	東海北陸	419,437	27,396	14,480	488	395	6.53	52.9	0.116	1.78	80.9
	近 畿	489,350	28,386	16,147	707	583	5.80	56.9	0.144	2.49	82.5
	中国四国	314,017	17,744	11,108	419	300	5.65	62.6	0.133	2.36	71.6
	九 州	832,822	54,334	32,955	1,017	877	6.52	60.7	0.122	1.87	86.2
北海道	北海道	202,592	15,326	12,459	403	394	7.56	81.3	0.199	2.63	97.8
東 北	青 森	114,799	4,100	3,065	143	140	3.57	74.8	0.125	3.49	97.9
	岩 手	182,638	10,881	7,417	335	331	5.96	68.2	0.183	3.08	98.8
	秋 田	102,306	6,248	4,157	192	135	6.11	66.5	0.188	3.07	70.3
	宮 城	130,390	6,876	4,185	274	253	5.27	60.9	0.210	3.98	92.3
	山 形	206,961	12,767	8,824	228	209	6.17	69.1	0.110	1.79	91.7
	福 島	203,573	16,832	11,962	437	264	8.27	71.1	0.215	2.60	60.4
関 東 甲 信 越	茨 城	154,868	11,285	8,156	302	268	7.29	72.3	0.195	2.68	88.7
	群 馬	46,410	2,755	1,888	90	90	5.94	68.5	0.194	3.27	100.0
	栃 木	57,554	2,894	1,786	97	74	5.03	61.7	0.169	3.35	76.3
	埼 玉	43,411	3,089	2,063	142	138	7.12	66.8	0.327	4.60	97.2
	千 葉	33,777	2,389	877	16	12	7.07	36.7	0.047	0.67	75.0
	東 京	96,080	5,925	3,378	136	125	6.17	57.0	0.142	2.30	91.9
	神奈川	312,053	18,089	3,232	116	61	5.80	17.9	0.037	0.64	52.6
	山 梨	63,813	3,578	2,044	66	1	5.61	57.1	0.103	1.84	1.5
	長 野	115,893	7,159	4,079	129	30	6.18	57.0	0.111	1.80	23.3
	新 潟	98,319	5,099	3,787	233	9	5.19	74.3	0.237	4.57	3.9
東 海 北 陸	富 山	26,358	1,894	1,376	55	42	7.19	72.7	0.209	2.90	76.4
	石 川	59,917	4,062	2,809	88	88	6.78	69.2	0.147	2.17	100.0
	福 井	33,342	1,692	1,271	69	64	5.07	75.1	0.207	4.08	92.8
	静 岡	114,849	7,921	3,147	116	90	6.90	39.7	0.101	1.46	77.6
	愛 知	88,183	5,448	3,055	62	49	6.18	56.1	0.070	1.14	79.0
	三 重	53,628	3,218	979	38	24	6.00	30.4	0.071	1.18	63.2
	岐 阜	43,160	3,161	1,843	60	38	7.32	58.3	0.139	1.90	63.3

大腸がん検診		受診者数	要 精 検 者 数	精 検 受 診 者 数	大腸癌 発見数	D票 回収数	要 精 検 率	精 検 受 診 率	大腸癌 発見率	適中度	D票 回収率
近畿	滋 賀	63,557	4,903	3,455	204	204	7.71	70.5	0.321	4.16	100.0
	奈 良	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	京 都	0	0	0	0	0	0.00	0.0	0.000	0.00	0.0
	大 阪	239,081	13,247	7,311	280	241	5.54	55.2	0.117	2.11	86.1
	和歌山	10,343	322	141	9	0	3.11	43.8	0.087	2.80	0.0
	兵 庫	176,369	9,914	5,240	214	138	5.62	52.9	0.121	2.16	64.5
中国四国	鳥 取	27,385	1,688	1,130	64	55	6.16	66.9	0.234	3.79	85.9
	島 根	39,703	1,634	382	29	25	4.12	23.4	0.073	1.77	86.2
	岡 山	39,998	2,097	1,250	37	0	5.24	59.6	0.093	1.76	0.0
	広 島	29,618	1,901	1,240	49	49	6.42	65.2	0.165	2.58	100.0
	山 口	38,464	2,088	991	45	3	5.43	47.5	0.117	2.16	6.7
	香 川	25,250	1,877	1,535	31	27	7.43	81.8	0.123	1.65	87.1
	徳 島	19,254	1,138	814	21	20	5.91	71.5	0.109	1.85	95.2
	愛 媛	70,035	4,424	3,142	93	84	6.32	71.0	0.133	2.10	90.3
	高 知	24,310	897	624	50	37	3.69	69.6	0.206	5.57	74.0
九州	福 岡	328,917	19,847	9,975	327	287	6.03	50.3	0.099	1.65	87.8
	佐 賀	43,118	4,140	2,856	100	100	9.60	69.0	0.232	2.42	100.0
	長 崎	38,956	2,741	1,911	70	61	7.04	69.7	0.180	2.55	87.1
	熊 本	123,237	8,064	5,766	136	136	6.54	71.5	0.110	1.69	100.0
	大 分	121,667	8,215	5,213	143	92	6.75	63.5	0.118	1.74	64.3
	宮 崎	19,510	1,469	1,077	30	30	7.53	73.3	0.154	2.04	100.0
	鹿児島	67,816	4,306	3,082	96	92	6.35	71.6	0.142	2.23	95.8
	沖 縄	89,601	5,552	3,075	115	79	6.20	55.4	0.128	2.07	68.7